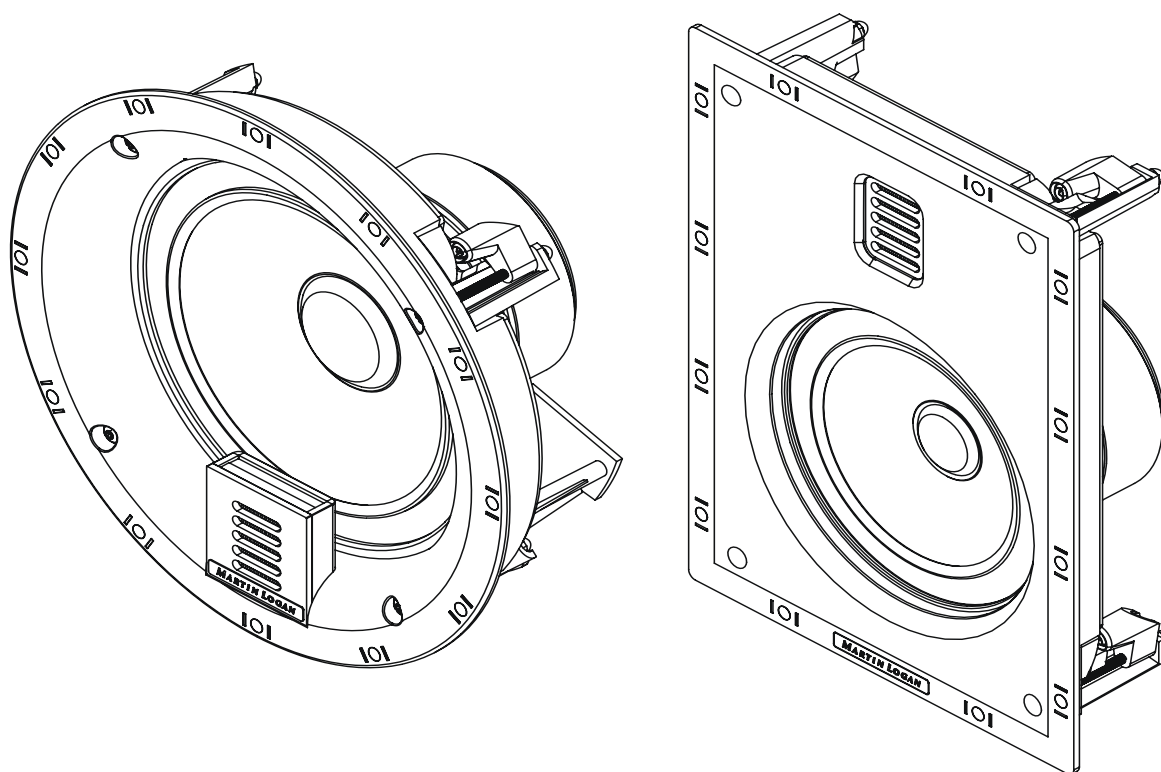


MC4 | MC6 | MC6-HT
MC8 | MW6 | MW4-LCR

取扱説明書



Motion[®]
MARTIN LOGAN

プレインストール・ブラケット(別売)については、お近くのMartinLogan販売店にお問い合わせください。

同梱品チェックリスト.....	2	天井設置(図解).....	10
安全に関する警告.....	2	壁設置(図解).....	11
角型グリル、プレインストール・ブラケット、 バックボックス.....	3	インストール.....	12
スピーカーの保護.....	6	スピーカーグリルの塗装について.....	12
慣らし運転.....	6	よくある質問.....	13
スピーカーの設置に関して.....	6	トラブルシューティング.....	13
設置オプション(全機種).....	7	サービスについて.....	14
設置オプション(MC6-HT).....	7-8	Specifications.....	15
接続.....	9		

同梱品チェックリスト

MartinLogan スピーカーには、以下のものが同梱されています。ご不明な点がございましたら、正規販売店までお問い合わせください。

- インストール・テンプレート
- グリルカバー

安全に関する警告



正三角形の中にある稲妻の閃光と矢じりのシンボルは、製品の筐体内に感電の危険を引き起こすのに十分な大きさの絶縁されていない「危険電圧」が存在することをユーザーに警告するためのものです。



正三角形の中の感嘆符は、本機に付属する文書に重要な操作およびメンテナンス(整備)の指示があることをユーザーに知らせるためのものです。



正三角形の中の火は、指示に従わないと火災の危険があることを警告するためのものです。



正三角形の中のドルマークは、指示に従わなければ、修理費が高額になる可能性のある損害を引き起こす危険性があることをユーザーに警告するためのものです。

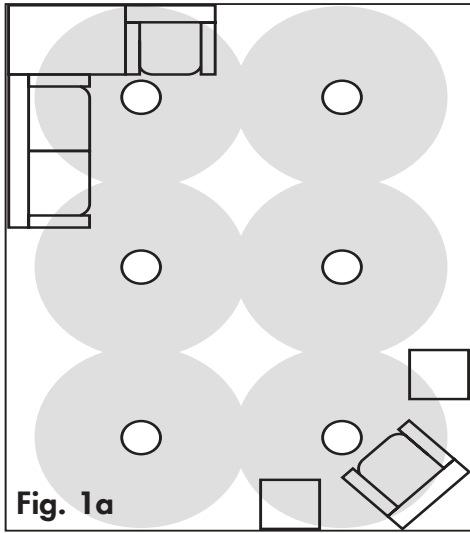
警告！



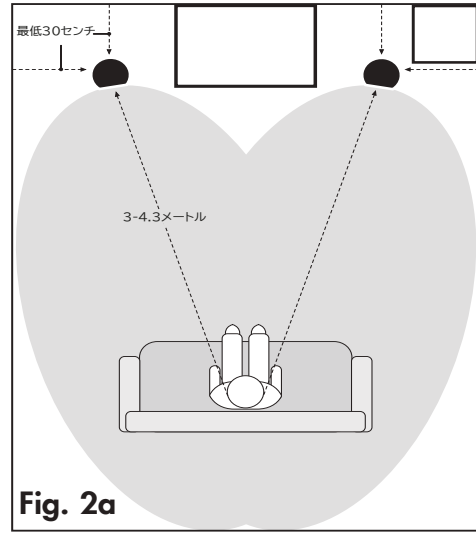
- 修理は専門の技術者にご依頼ください。
- 火災や感電を防ぐため、湿気にさらさないでください。
- 異常がある場合は、アンプの電源をお切りください。
- スピーカーを定格出力以上で駆動させないでください。

角型グリル、プレインストール・ブラケット、バックボックス

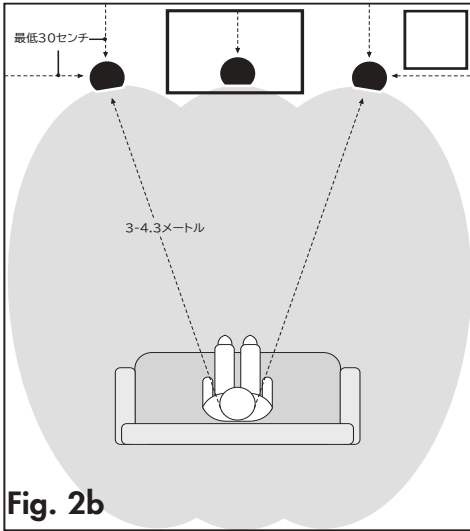
一部のMartinLoganMotionシリーズCIスピーカーには、角型グリル、プレインストール用ブラケット、バックボックスが用意されています。入手方法については、販売店にお問い合わせください。



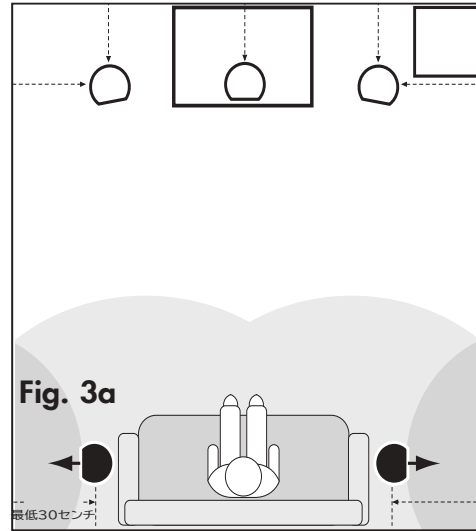
MC4/6/8: マルチスピーカー、
マルチルームオーディオ



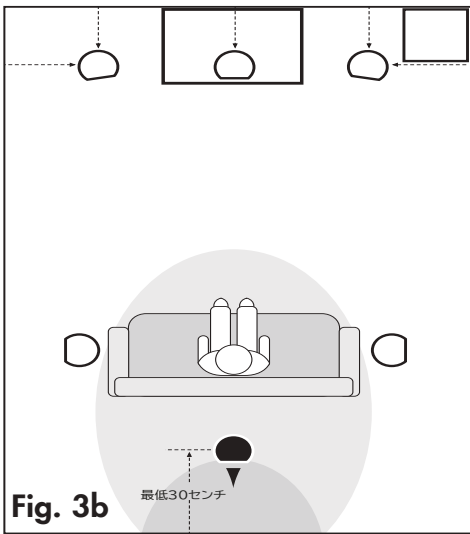
MC6-HT: フロントL/Rスピーカー



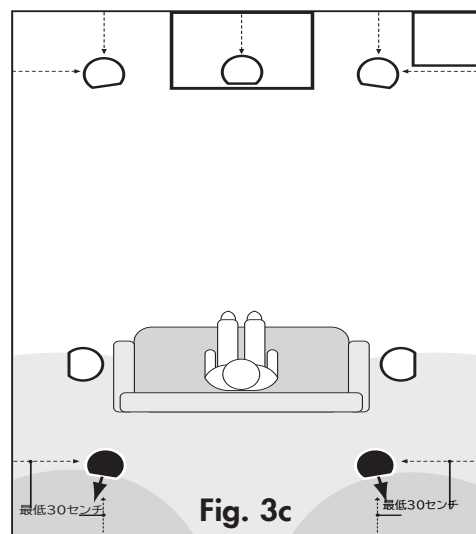
MC6-HT: フロントL/C/Rスピーカー



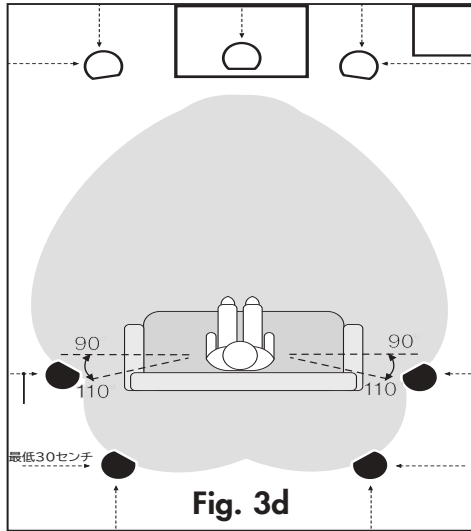
MC6-HT: 5.1chシステムでの
非ダイレクト・サラウンドチャンネル



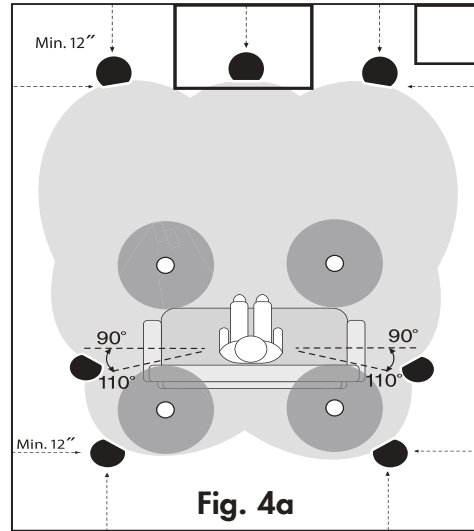
MC6-HT: 6.1chシステムでの
非ダイレクトサラウンドチャンネル



MC6-HT: 7.1chシステムでの
非ダイレクトサラウンドチャンネル



MC6-HT: 7.1chシステムでの
ダイレクト・サラウンド&リアチャンネル



MC6-HT + MC4/6/8: ATMOS
ハイトスピーカー対応7.1.4chシス
テムでのダイレクトL/C/R/サラウン
ド/リアチャンネル

スピーカーの保護

- スピーカーの指定されたパワーハンドリングに合致するアンプを使用してください。
 - スピーカーが歪んだり、音が小さくなったり、低音が途切れ始めたりした場合は、破損を避けるため、音量を下げてください。
 - トーンコントロールやイコライザーは、特に大音量で使用すると歪みが発生する可能性があります。これらの設定は控えめにしてください。
-

慣らし運転

スピーカーを再生し始めた当初は、少し低音が控えめに聞こえます。これは、ドライバーに使用されている高品質で長寿命の部品によるものです。重要なリスニングを行う前には 90dB (中程度のリスニングレベル) で約72時間の慣らし運転を行ってください。

スピーカーの設置に関して

取り付け位置の選択

スピーカーは、壁のスタッドまたは天井の梁の間に設置し、壁面の裏側に電線がないように注意してください。MC6-HTは天井埋め込み用としてご使用ください。

壁の剛性がより良いサウンドをもたらします

壁の剛性を上げると、音響性能が向上する場合があります。これを行うには、スピーカーの上下約30cmの壁の内側にクロスブレースを追加することを検討してください。

優れた音像定位の実現

MartinLoganの壁埋込および天井埋込スピーカーは、ほぼすべての場所で優れたイメージングと柔軟な配置を提供します。ただし、最高のパフォーマンスとイメージングを実現するには、スピーカーをリスニング・ポジションから等距離に配置し、スピーカーとリスニングポジションの間に物理的な障害物がないようにします。

硬質面と軟質面のバランスで高域と中域の性能が向上します

カーペット、ドレープ、その他の吸音材で「過度に減衰」している部屋は、システムは鈍くて活気がないように聞こえます。一方、部屋には非常に多くの硬い表面がある場合、システムは体育館のように聞こえます。自分にとって心地よいミックスになるまで、軟質面を増減させて、試してみてください。

低音出力のバランス

スピーカーをコーナーに設置すると、低音出力が強調されます。全音域に渡ってバランスのとれた出力が必要な場合は、コーナーへの設置は避けてください。

設置場所を選ぶ際には、以下の簡単な推奨事項に従ってください。なお、これらはあくまでも推奨事項であり、お客様の設置条件によっては異なる場合があります。

- 壁の隅から最低30cmセンチ離してください。
 - フロント/センターは、リスニングポジションから3~4.3メートルの範囲で等距離に設置してください。
 - MC4, MC6, **MC6-HT**, **MC8**: これらのモデルは天井埋込専用です。
-

設置オプション(全機種)

MotionシリーズのCIスピーカーは、MartinLoganのFolded Motion Tweeter (FMT)を搭載しています。このユニークな薄膜トゥイーターは、80°×80°の制御された分散パターンを特徴としています。この制御された「音の円錐」は、音質低下の原因となる部屋の音の反射を避けるために非常に有効です。最適な結果を得るには、主なリスニングエリアがトゥイーターの分散パターン内にあるように、取り付け位置に注意する必要があります。リスナーがスピーカーから遠くなればなるほど、トゥイーターのカバーエリアは広くなることを覚えておいてください。FMTの均一な分散により、Motion 壁埋込型スピーカーの分散は、スピーカーが水平に取り付けられても垂直に取り付けられても変わりません。コントロールされた分散は、実際に重要な場所、つまりあなたの耳に、より良い音質を届けるためのツールなのです。FMTの分散は、不要な音の反射を除去したり特にオープンなフロアプランの場合、家庭内の他の場所への不要な「音漏れ」を低減するのに役立つことができます。

ステレオおよびホームシアター用途(図なし)

MartinLogan Motionシリーズの壁埋込型および天井埋込型スピーカーは、2チャンネル・ステレオおよびマルチチャンネル・ホームシアターの設置に最適です。前項のガイドラインは、壁埋込型および天井埋込型スピーカーのどちらにも適用されます。

マルチスピーカー、マルチルーム・オーディオ (Fig. 1a)

広い場所(オフィスなど)では、複数のスピーカーを使用すると、部屋を動き回ったり、片方のスピーカーに近い席に座ったときに、別々のステレオスピーカーで発生する音のアンバランスを解消することができます。メインリスニング・エリアで最も広い音域をカバーするようにスピーカーを配置します。MC6-HTは角度をつけることで、カバーしようとするエリアに向けて音を集中させることができます。

設置オプション (MC6-HTスピーカー)

MC6-HTスピーカーは、天井高が2.4~2.74mの部屋での使用に最適化されています。ツイーターは主なリスニングポジションに向けます。全体的な明瞭度とバランスのとれた低音性能を得るには、Fig.2a~4aに示すように、壁から30 cm以上離れた天井に取り付けてください。

フロントチャンネル配置 (Fig. 2a & 2b)

フロントスピーカーから主なリスニングエリアまでの距離は、図のように3~4.3 mになるように設定してください。ドライバーをリスニングポイントに向けます。

非ダイレクト・サラウンド/リアチャンネル配置(Fig. 3a-3c)

サラウンドチャンネルやサラウンドバックチャンネルとしても最適です。音が壁に反射するようにスピーカーを設置すると、包み込まれるような余韻のある音場が生まれます。

スピーカーの取り付けは、壁から30cm以上離してください。

- **5.1chサラウンド配置 (Fig. 3a):** スピーカーをリスニングエリアの左右に1台ずつ、ドライバーを側壁に向けて設置します。
- **6.1chリア配置 (Fig. 3b):** 5.1chサラウンド配置(上記)から始めてください。1台のスピーカーをリスニングエリアの後ろの中央に配置し、ドライバーを後方の壁に向けます。
- **7.1chリア配置 (Fig. 3c):** 5.1chサラウンド配置(上記)から始めてください。MC6-HTをもう1組、リスニングエリアの後方に、1台はやや右側に、もう1台はやや左側に置き、ドライバーは図のように部屋の後方に向けて設置します。

7.1chシステムでのダイレクト・サラウンド&リアチャンネル(Fig. 3d & 4a)

MC6-HTは、ドライバーをリスニングエリアに向けて設置し、直接放射型スピーカーとして使用することができます。Fig. 3dまたはFig. 4aを参考に、ご自分の部屋で最適なサラウンドサウンドを実現するために、試行錯誤しながら位置を決めてください。

MOTION LCRモデルの配置 (図なし)

MW4-LCRは、ステレオやホームシアターの壁埋込ポジションで使用できる、真のLCR(Left, Center, Right)モデルです。必要に応じて垂直または水平に取り付けるか、独自のインストールによって指定されるように設計されています。

接続

赤(+)アンプ端子と赤(+)スピーカー端子を接続します。

黒(-)アンプ端子と黒(-)スピーカー端子を接続します。

インストール

注:この説明書は、取り付け面が標準的な木造フレームと標準的なシートロック構造であることを前提としています。それ以外の素材にスピーカーを取り付ける場合はインストーラーに依頼する必要があります。

注:プレインストールブラケット、スクエアグリル(天井埋込型のみ)、バックボックス(天井埋込型のみ)(アクセサリは別売)については、お近くの販売店にお問い合わせください。

注:手動ドライバーでの取り付けも可能ですが、電動ドリルでの取り付けを強くお勧めします。クランプの損傷や破損を防ぐため、ドリルは高速かつ低トルクの設定にしてください。高トルク設定は不要であり、高トルクでは、クランプが割れたり破損したりする可能性があります。このような損傷は保証の対象外です。



警告! 設置する前に、地域の建築基準法を確認し、地域の規制を遵守していることを確認してください。



警告! 設置する前に、乾式壁の裏側に障害物がないことを確認してください。45°の角度で切り込み、小さな穴を開けます(障害物があった場合に補修しやすくなります)。取り付け穴を開けるのは、乾式壁の背後に障害物がないことを確認した後にしてください。



警告! スピーカーケーブルは、壁埋込用として定格されたもののみを使用してください。

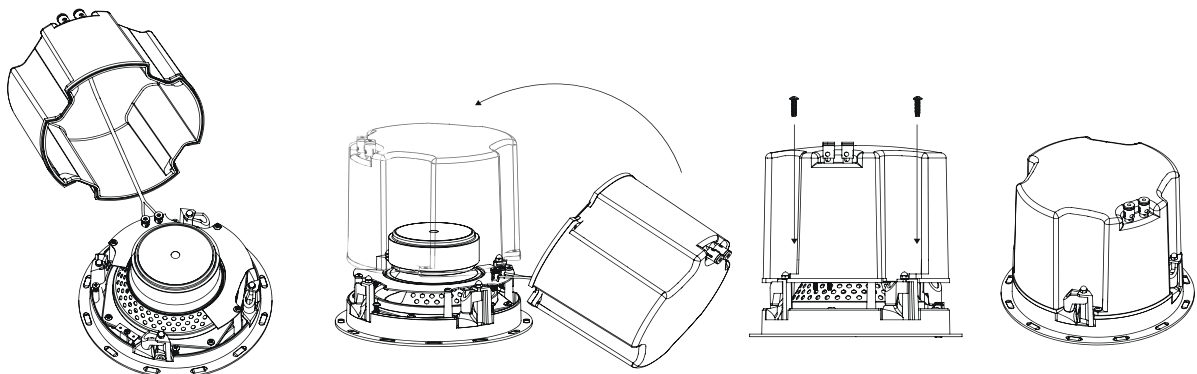


警告! 信号の接続や切断を行う前に、アンプの電源を切ってください。

推奨工具:

- スタッド・ファインダー
- ドライウォールナイフ
- 電動ドリル
- 低粘着テープ
- シャープペンシル/ペン
- ワイヤーストリッパー
- 巻き尺

注: **Retrofit**バックボックスは、すべての天井埋込型Motionシリーズスピーカーでご利用いただけます。このバックボックスは、スピーカーが設置されている場所の上方への音の「漏れ」を抑えます。例えば、階下にホームシアターを建設し、スピーカーを設置した場所の真上に居住スペースがある場合、このバックボックスを使用して音を封じ込め、スピーカーの上にいる人に迷惑がかからないようにすることが望ましい場合があります。



スピーカーの取り付けと接続 (図解)

注: クランプが正しい位置にセットされていない場合は、クランプが正しい位置に来るまで、ドライバーを使用してネジを反時計回りに回してください。

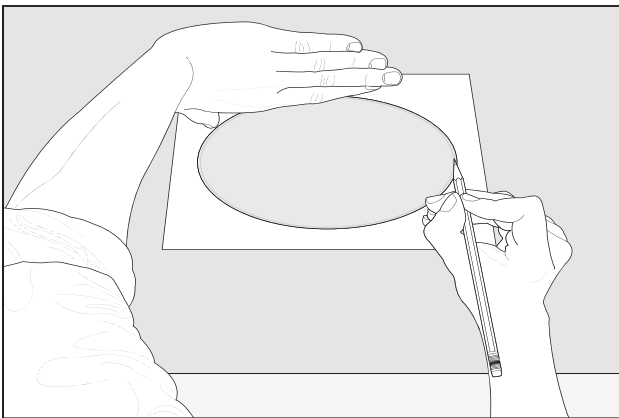
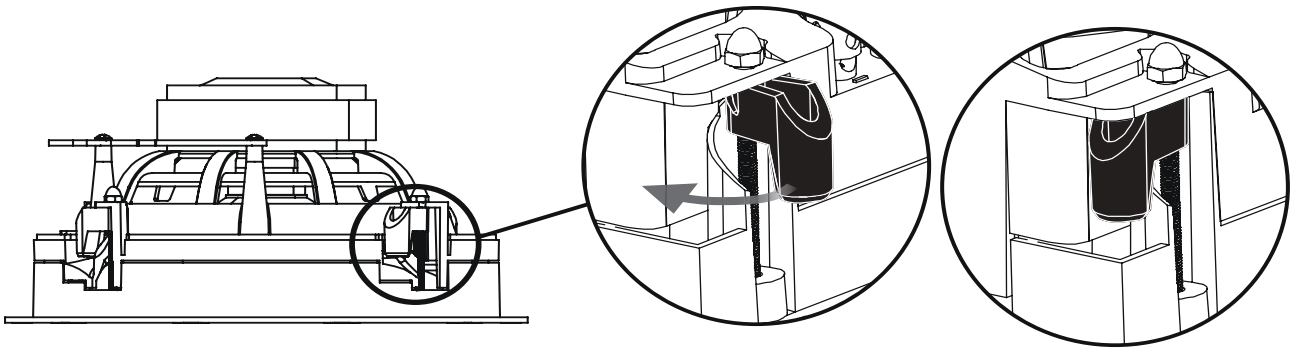


Fig. 5a

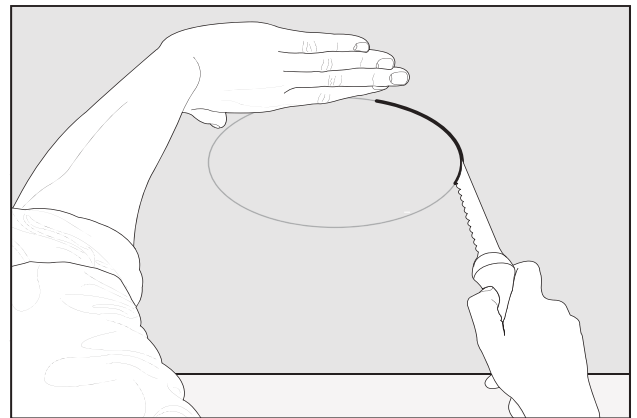


Fig. 5b

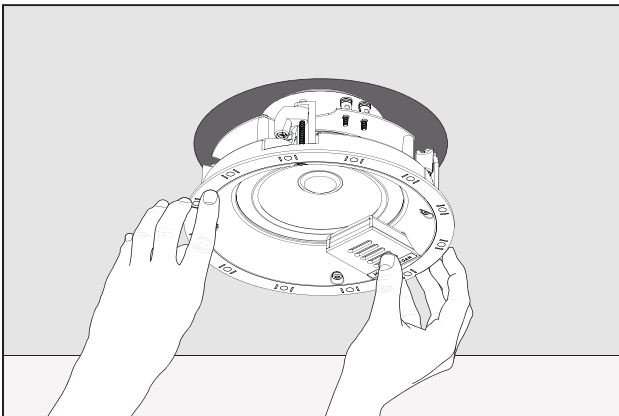


Fig. 5c

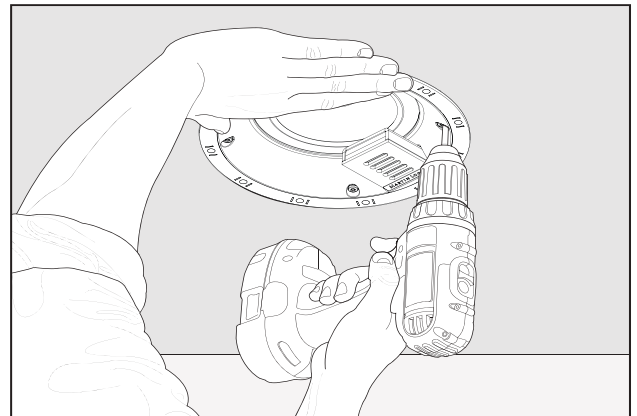


Fig. 5d

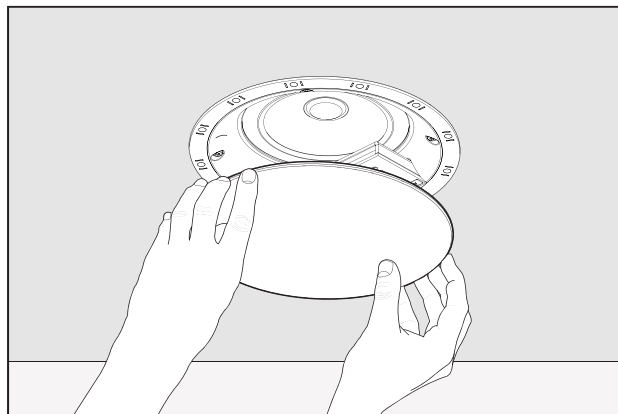


Fig. 5e

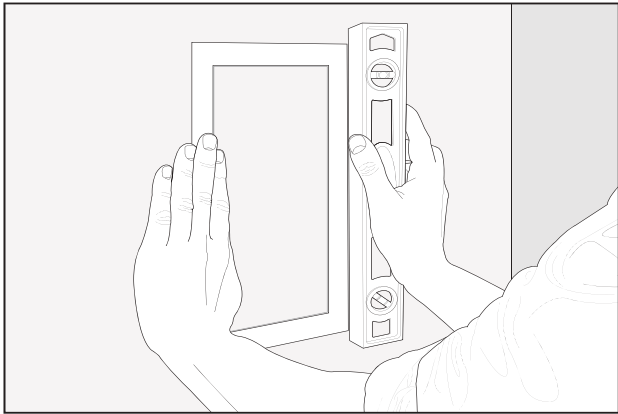
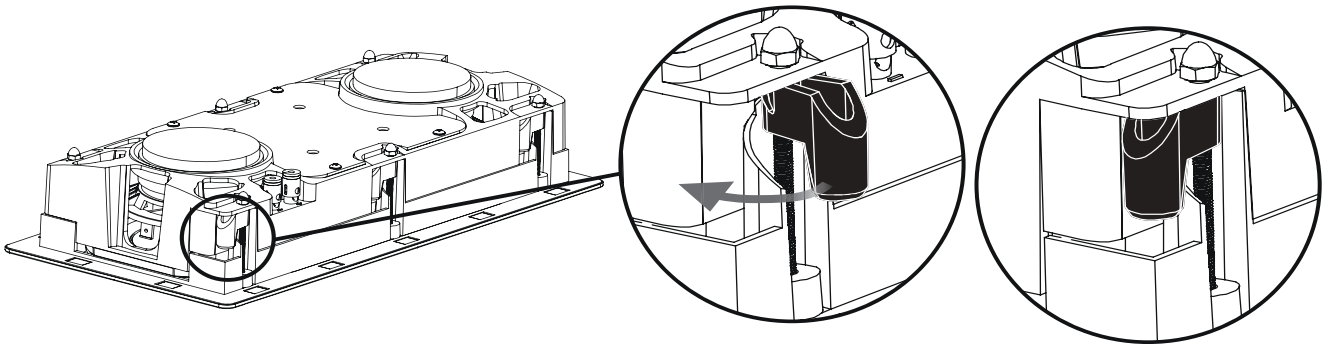


Fig. 6a

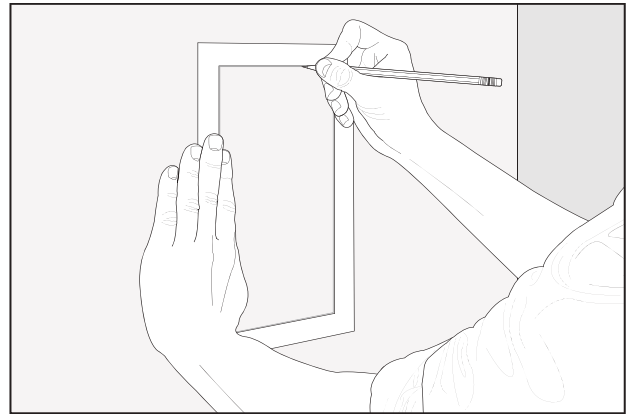


Fig. 6b

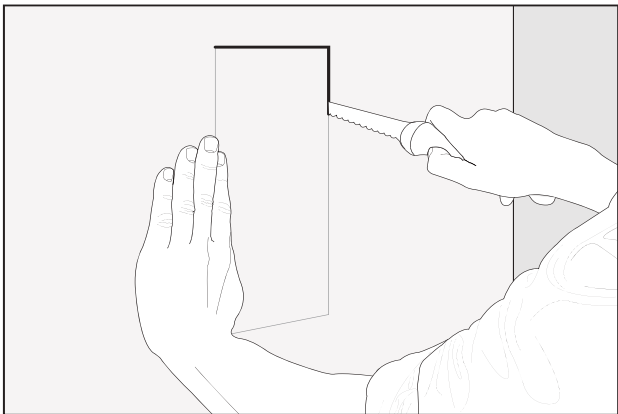


Fig. 6c

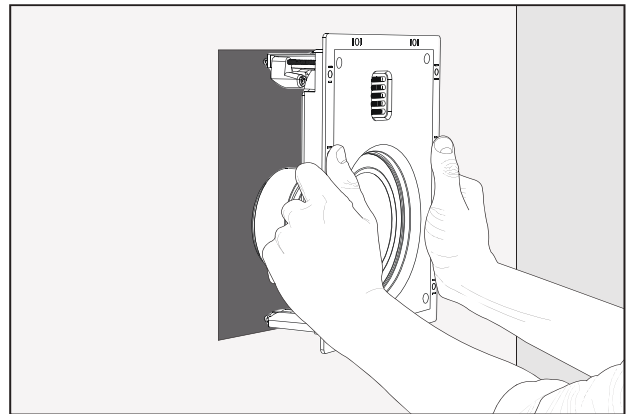


Fig. 6d

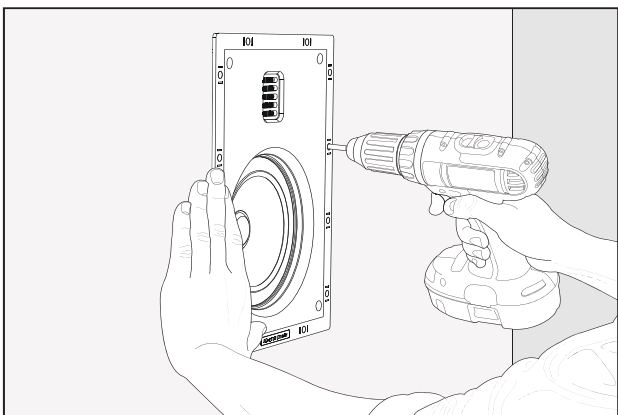


Fig. 6e

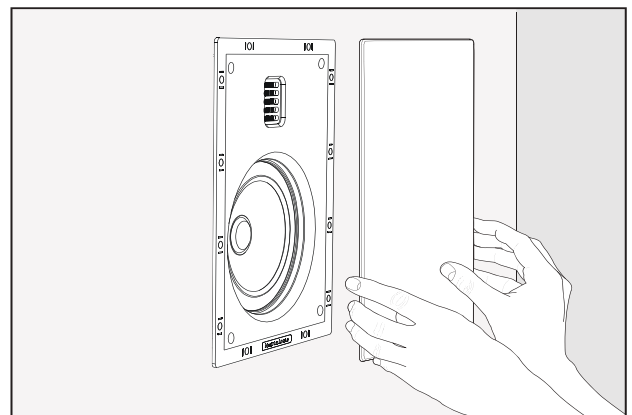


Fig. 6f

1. テンプレートに取り外し可能な中心がある場合は、この時点で取り外します。
2. スタッドファインダーを使用して、テンプレートを壁の間柱または天井梁の間に配置します。MC4、MC6、MC6-HT、MC8は、天井にのみ取り付けます。
3. テンプレートをテープで固定し、鉛筆で切り抜き位置をマークします。長方形のスピーカーの場合、印をつける前にテンプレートを水平にします。
(Figs. 5a, 6a, & 6b).
4. テンプレートを外し、ドライウォールナイフで開口部を切り取る (Figs. 5b & 6c)。
5. **壁埋込:** 必要であれば、切り取った穴の上下にファイバー グラスを入れます。
スピーカーの後ろに厚さ1/2のグラスファイバーを 入れます。
天井埋込: 必要であれば、スピーカーの真上の根太の間に30cm以上のファイバーグラスを設置します。
6. スピーカーケーブルを接続します。スピーカーのリード線と端子を接続するときは、統一してください。スピーカーとアンプの端子には、必ず同じ色を使用してください。
7. 電動ドリルを高速、低トルクに設定します。
8. スピーカーのリップ部のクランプが、警告図に示されるように正確に配置されていることを確認してください。
9. アセンブリを天井または壁の穴にゆっくりと押し込みます (Figs. 5c & 6d)。
10. 片手でアセンブリを支え、電気ドリルとトルクスT20ビットで各ネジを締め付けます。抵抗を感じたら締め付けをやめます(Figs. 5d & 6e)。 MC6-HT: ネジを締める前に、スピーカーの向きを調整し、ドライバーを希望の位置 にセットしてください。
11. グリルをゆっくりと押し込んでください (Figs. 5e & 6f)。

スピーカーグリルの塗装について

重要: 塗装する前に、スピーカーからグリルを取り外してください。グリルの裏側にあるスピーカーの表面は塗装しないでください。ペイントローラーを使用しないでください。

1. スピーカーからグリルを取り外します。
2. グリルの穴をふさがないように注意しながら塗装します。最良の結果を得るには、ブラシではなくスプレーを使用します。塗料が完全に乾いてから作業を始めてください。グリルの裏側の表面は塗らないでください。

よくある質問

スピーカーの掃除方法を教えてください： スピーカーのホコリを取り除くには、きれいな布が柔らかいブラシを使用してください。ドライバーの上や近くに洗浄剤を吹き付けしないでください。

どの程度の出力のアンプを使用すればよいですか？： お手持ちのスピーカーの推奨アンプ出力範囲内の定格のアンプをお勧めします。

MartinLoganのスピーカーに最適な電子機器とケーブルのリストを提案していただけますか？： 電子機器とケーブルの選択は、おそらく私たちが受け取る最も多い質問です。また、最も主観的なものです。私たちは、あるセットアップでうまくいくブランドが、別のセットアップでは他の誰かをイライラさせるということを繰り返し見てきました。私たちは多くのブランドを使い、大きな成功を収めています。繰り返しますが、お気に入りはありません。私たちは電子機器とケーブルを分け隔てなく使用しています。いくつかのブランドを試聴し、何よりも自分の耳を信じることをお勧めします。オーディオ機器やケーブルを追加購入する際の情報源としては、常に販売店が最適であり、インウォールケーブルの特別な安全要件について熟知しているはずです。

直射日光にさらされると、スピーカーの寿命やパフォーマンスに影響しますか？： 直射日光の当たる場所には置かないことをお勧めします。太陽からの紫外線(UV)は、グリルクロスやスピーカーコーンなどを劣化させる原因となります。少量の紫外線を浴びても問題はありません。一般に、ガラスを通して紫外線をフィルタリングすることで、悪影響は大幅に軽減されます。

トラブルシューティング

音が出ない

- すべてのシステムコンポーネントの電源がオンになっていること、ミュートになっていないこと、バランスコントロールが正しく設定されていることを確認してください。
- 壁の電源コンセントが機能していることを確認してください。
- 電源コード、スピーカーケーブル、接続ケーブルをチェックしてください。
- ヘッドホンが接続されていないことを確認してください。
- アンプのスピーカーケーブルを、正常に機能しているスピーカー側のケーブルと交換してみます。別のスピーカーの音が出なくなる場合、システム内の他の機器(アンプ、プリアンプ、プロセッサなど)に問題がある可能性があります。
- 別のスピーカーをつないでみてください。音が出ないのは、システム内の他の機器(アンプ、プリアンプ、プロセッサなど)に問題があることを示唆している可能性があります。

低音不足や音像定位のあいまいさ

- スピーカーの配線を確認してください。極性は正しいですか? (+)から(+), (-)から(-)に正しく接続されていますか?
- オプションのバックボックスを使用すると、ウーファーが利用できる空間が狭くなるため、スピーカーの低音出力が減少します。これは、他の場所に伝わる不要な音を減らすこととトレードオフの関係にあります。

サービスについて

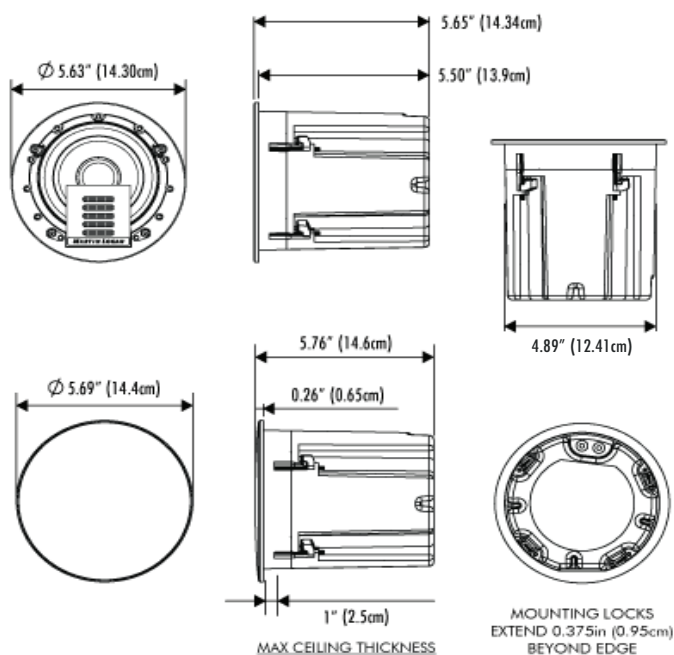
本機の保証は、その国のMartinLoganの販売代理店が、その国の保証に基づき販売した本機に対してのみ責任を負います。

Specifications*

MC4

周波数特性.....	90 - 25,000 Hz \pm 3dB
ツイーター角度調整.....	なし
感度.....	90dB @2.83V/ 1 meter
インピーダンス	8 ohms
クロスオーバー周波数.....	2,230 Hz
高域ドライバー	FMT 2.6cm x 3.6cm 開口部 13.3cm x 4.4cm 振動板
低域ドライバー.....	10.16cm グラスファイバー コーン型
入力端子.....	12AWG対応プッシュタイプ
推奨アンプ出力.....	50-120 Watts
最大許容入力.....	60 Watts
質量.....	0.9 kg
全体寸法(直径x奥行).....	14.3cm x 14.3cm
必要開口部.....	12.41cm直径
壁面からの突出.....	0.65cm
壁面からの必要奥行.....	13.9cm

*仕様は予告なく変更される場合があります。

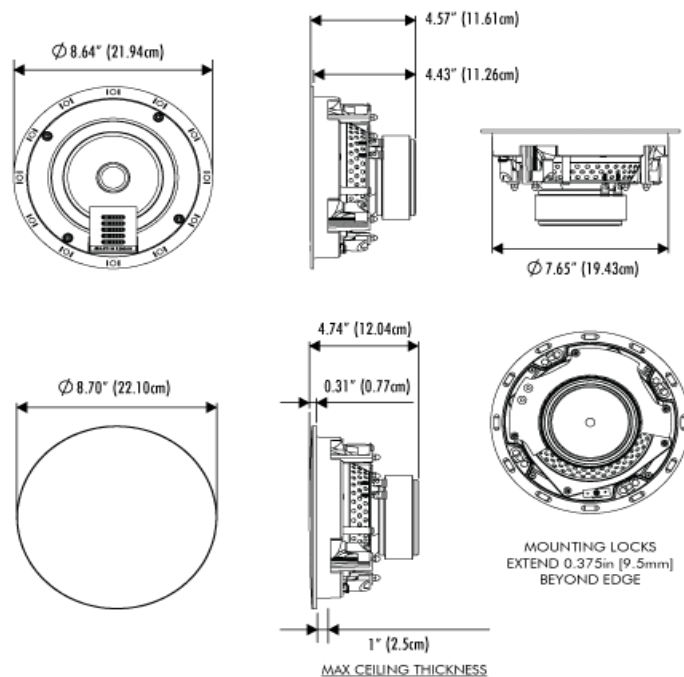


Specifications*

MC6

周波数特性.....	62 - 25,000 Hz ±3dB
ツイーター角度調整.....	N/A
感度.....	90dB @2.83V/ 1 meter
インピーダンス.....	8 ohms
クロスオーバー周波数.....	2,570 Hz
高域ドライバー.....	FMT 2.6cm x 3.6cm 開口部 13.3cm x 4.4cm 振動板
低域ドライバー.....	16.51cm グラスファイバーコーン型
入力端子.....	12AWG対応プッシュタイプ
推奨アンプ出力.....	50-150 Watts
最大許容入力.....	75 Watts
質量.....	2.31 kg
全体寸法(直径x奥行).....	21.94cm x 11.61cm
必要開口部.....	19.43cm直径
壁面からの突出.....	0.77cm
壁面からの必要奥行.....	11.26cm

*仕様は予告なく変更される場合があります。

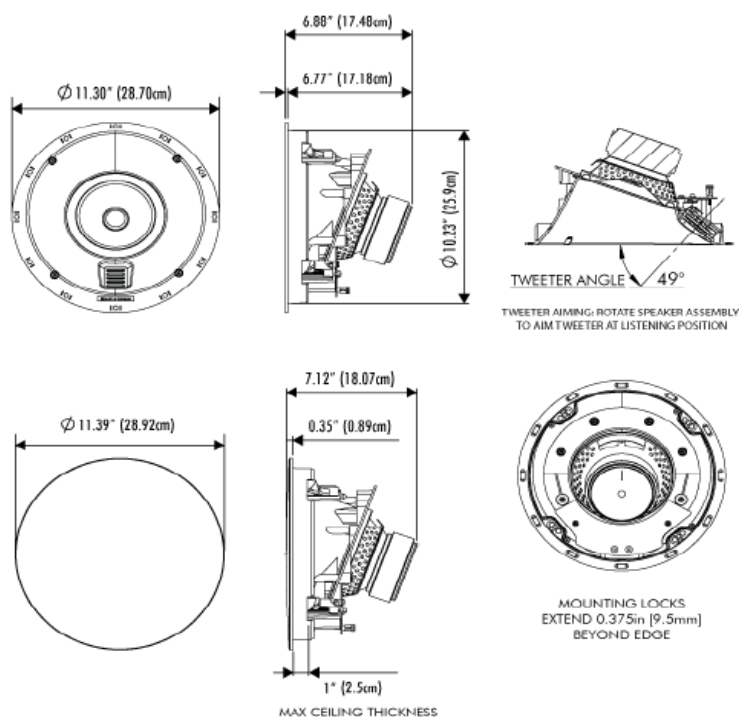


Specifications*

MC6-HT

周波数特性.....	90 - 25,000 Hz \pm 3dB
ツイーター角度調整.....	なし
感度.....	90dB @2.83V/ 1 meter
インピーダンス.....	8 ohms
クロスオーバー周波数.....	2,230 Hz
高域ドライバー.....	FMT 2.6cm x 3.6cm 開口部 13.3cm x 4.4cm 振動板
低域ドライバー.....	10.16 cm グラスファイバーコーン型
入力端子.....	12AWG対応プッシュタイプ
推奨アンプ出力.....	50-120 Watts
最大許容入力.....	60 Watts
質量.....	2.75 kg
全体寸法(直径x奥行).....	28.7cm x 17.48cm
必要開口部.....	25.9cm 直径
壁面からの突出.....	0.89cm
壁面からの必要奥行.....	17.18cm

*仕様は予告なく変更される場合があります。

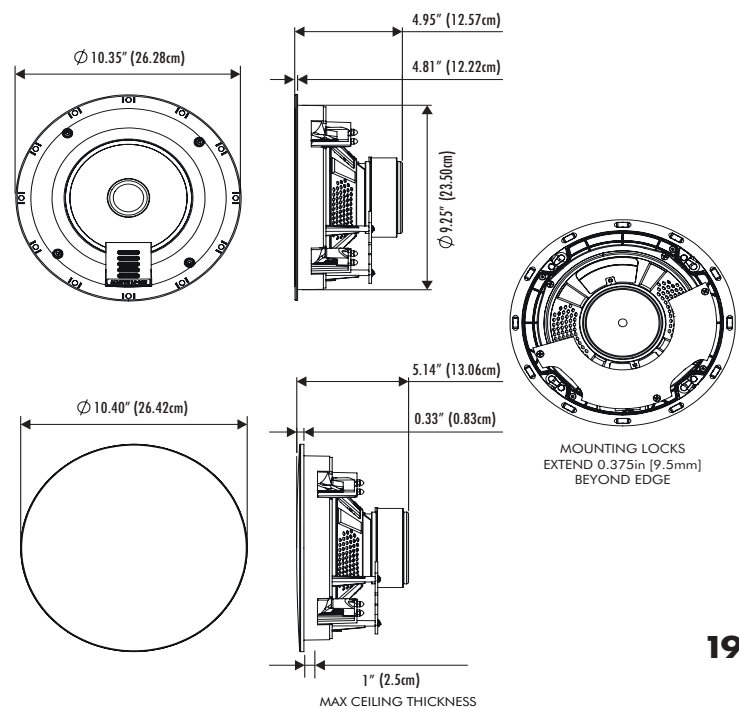


Specifications*

MC8

周波数特性.....	44 - 25,000 Hz \pm 3dB
ツイーター角度調整.....	なし
感度.....	91dB @2.83V/ 1 meter
インピーダンス.....	8 ohms
クロスオーバー周波数.....	2,220 Hz
高域ドライバー.....	FMT 2.6cm x 3.6cm 開口部 13.3cm x 4.4cm 振動板
低域ドライバー.....	20.32cm グラスファイバーコーン型
入力端子.....	12AWG対応プッシュタイプ
推奨アンプ出力.....	50-200 Watts
最大許容入力.....	100 Watts
質量.....	2.72 kg
全体寸法(直径x奥行).....	26.28cm x 12.57cm
必要開口部.....	23.5cm 直径
壁面からの突出.....	0.83cm
壁面からの必要奥行.....	12.22cm

*仕様は予告なく変更される場合があります。



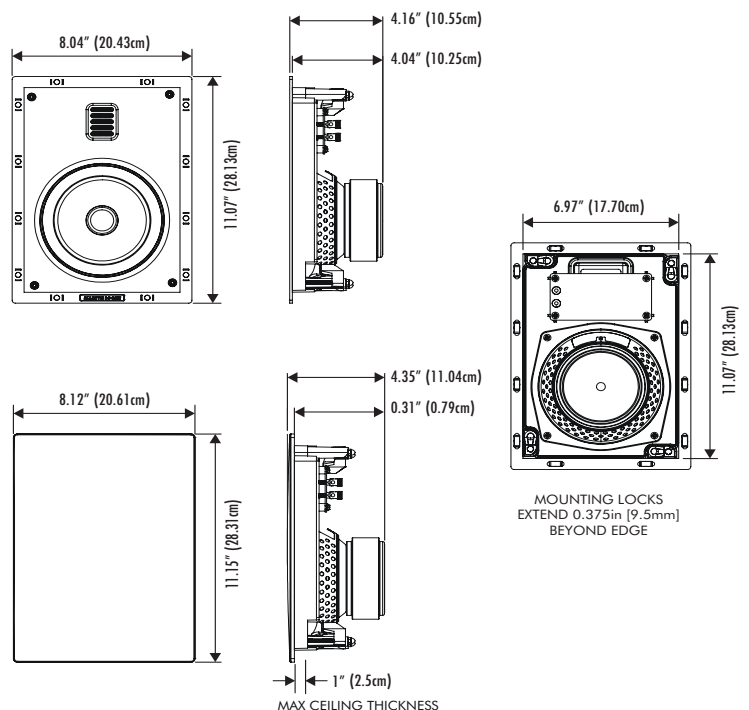
Specifications*

MW6

周波数特性.....	62 - 25,000 Hz \pm 3dB
ツイーター角度調整.....	なし
感度.....	90dB @2.83V/ 1 meter
インピーダンス.....	8 ohms
クロスオーバー周波数.....	2,920 Hz
高域ドライバー.....	FMT 2.6cm x 3.6cm 開口部 13.3cm x 4.4cm 振動板
低域ドライバー.....	16.51cm グラスファイバーコーン型
入力端子.....	12AWG対応プッシュタイプ
推奨アンプ出力.....	50-120 Watts
最大許容入力.....	60 Watts
質量.....	2.72 kg
全体寸法.....	20.43cm x 28.13cm x 10.55cm
必要開口部.....	17.70cm x 28.13cm
壁面からの突出.....	0.79cm
壁面からの必要奥行.....	10.25cm

*仕様は予告なく変更される場合があります。

*

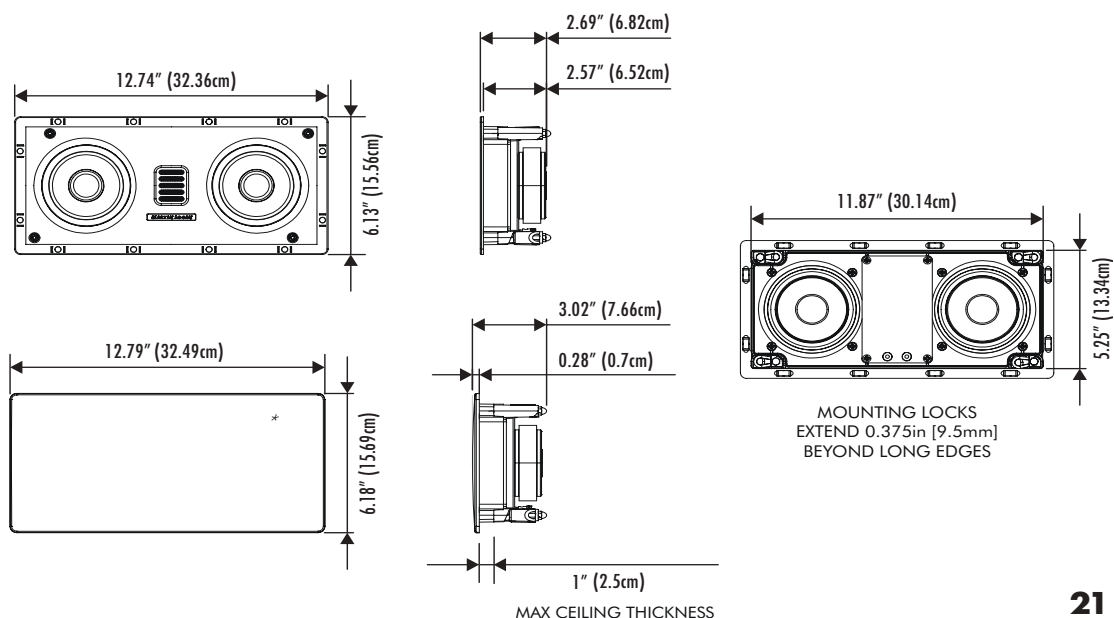


Specifications*

MW4-LCR

周波数特性.....	78 - 25,000 Hz \pm 3dB
ツイーター角度調整.....	なし
感度.....	93dB @2.83V/ 1 meter
インピーダンス.....	8 ohms
クロスオーバー周波数.....	2,800 Hz
高域ドライバー.....	FMT 2.6cm x 3.6cm 開口部 13.3cm x 4.4cm 振動板
低域ドライバー.....	10.16 cm グラスファイバーコーン型
入力端子.....	12AWG対応プッシュタイプ
推奨アンプ出力.....	50-200 Watts
最大許容入力.....	100 Watts
質量.....	2.73 kg
全体寸法(縦x横x奥行).....	32.36cm x 15.56cm x 6.82cm
必要開口部.....	30.14cm x 13.34cm
壁面からの突出.....	0.7cm
壁面からの必要奥行.....	6.52cm

*仕様は予告なく変更される場合があります。



PDN

株式会社PDN

〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134

<https://pdn.co.jp>

横浜ビジネスパークノーススクエアI-4階